

非稼働病床運用計画書一覧表（堺市二次医療圏）

資料 5

No.	医療機関名	所在地	非稼働病床 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	病床数 (一般・療養計 可病床数)	非稼働になった時期及び理由	非稼働を改善するための実行可能で具体的な運用計画
1	独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター	堺市北区 長曾根町1180番地	③	325床	<p>新病棟への病床全面移転・稼働（311床）に併せ、旧病棟の配置病床54床（西2階病棟47床・北4階病棟7床）での変更許可申請を行った（病院開業事項中一部変更許可日 平成30年9月5日）。</p> <p>旧病棟の当該54床の申請は、新病棟を補完する予備的な病床、また、将来的な地域包括ケア病床設置等を視野に入れたものであったが、現在のところ、一部変更許可日以降における当該病床は稼働させていない。</p>	<p>非稼働となっている54床（西2階病棟47床、北4階病棟7床）については、再稼働させる為の整備費や人件費と収益等を考慮すると、採算が合わない可能性があることから、令和2年度中に減少申請を行う予定にしている。</p>
2	社会医療法人啓二会 堺咲花病院	堺市南区 原山台2丁7番1号	①	310床	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月 近畿大学医学部堺病院を事業継承時、一般病棟43床（非稼働病床数267床） ・平成30年11月 一般病棟60床に増床（非稼働病床数250床） ・平成31年4月 地域包括ケア病棟60床を開床（非稼働病床190床） ・令和元年8月 一般病棟60床を開床（非稼働病床数130床） ・令和元年9月 一般病棟60床を地域包括ケア病棟へ変更（非稼働病床数130床） <p>現状、人手不足（特に理学療法士）により、130床が非稼働。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医師・看護師・理学療法士・臨床検査技師・薬剤師を随時採用しており、必要定数が確保次第開床を計画 ・令和2年4月～10月を目途に一般病棟60床を開床予定 ・令和3年3月末を目途に残70床を開床予定 <p>最終的には一般病棟100床、地域包括ケア病棟100床、回復期リハビリテーション病棟50床、療養病棟60床の計310床での運用を計画。</p>

	医療機関名	所在地	非稼働病床 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	病床数 (一般・療養許 可病床数)	非稼働になった時期及び理由	非稼働を改善するための実行可能で具体的な運用計画
3	医療法人沈沢医院	堺市堺区 大浜北町2丁1-30	—	5床	—	減床届提出予定。
4	清水レディースクリニック	堺市堺区 向陵中町2丁3-13	②	1床	過去1年間は非稼働であるが、流産手術の患者には原則入院が必要であると説明している。実際、麻酔が必要であるため、入院手術をしている。ところが、患者自身は宿泊なく自身の事情により帰宅するため報告としては非稼働病床となっている。	流産手術の際は入院を原則とする。
5	医療法人甲潤会 八木クリニック	堺市堺区 神明町西1丁1-17	②	2床	もともと中絶用のベットで麻酔後落ち着いているため患者さんが入院するより手術当日に退院を希望するため	中絶後患者さんが入院するように説得する必要はあると考えているが、手術の性質や患者さんの仕事や育児を考えると患者さんから希望される場合拒否できないので困っているのが現状です
6	医療法人磯野耳鼻咽喉科診療所	堺市堺区 中三国ヶ丘町1丁1-2	②	4床	本来、病床は短期入院用として確保しているが、症例により、日帰りにできた症例が多かったため、病床稼働に至らなかった為である。手術患者用に病床は常に必要である。	短期入院患者を増員する。 医師の増員の予定あり（令和4年度）。
7	荒木産婦人科肛門科	堺市堺区 中安井町3丁4-10 堺東八千代ビル2階	—	2床		未提出

	医療機関名	所在地	非稼働病床 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	病床数 (一般・療養許可病床数)	非稼働になった時期及び理由	非稼働を改善するための実行可能で具体的な運用計画
8	坂本産婦人科	堺市東区 白鷺町1-3-7	①	2床	平成4年4月1日から分娩を止めたので入院が必要となくなった	・入院では必要ないが、通院時（外来）の手術時に対応する病床が必要な為
9	医療法人嘉祥会 田村外科	堺市西区 津久野町1町8-12	—	3床	病床維持に必要な人（員）材不足になったため	人材が確保でき、また赤字にならない運営が見込まれたら再開を考えたい。 今後3～5年程度を見込んでいる。
10	医療法人雄徳会 たつみクリニック	堺市西区 浜寺石津町中1丁目3-9	①	3床	・平成30年1月から ・看護職員の必要数が確保できず、3床すべて非稼働となっている。	・各種web媒体およびハローワークへの求人掲載、ホームページによる求人募集、紹介会社への依頼を行い、令和3年3月末までに看護職員を確保し、令和3年4月から非稼働の病床を稼働させます。 ・また、看護職員の雇用促進および定着を図るために、令和2年4月から、有給休暇取得率の向上、昇給制度を含めた給与システムの改善などの福利厚生の実施をします。
11	山本産婦人科	堺市南区 鴨谷台3丁6番2号	②	2床	今回の1年間に入院を必要とする患者がいらない為、稼働0床にて報告	・流産手術の患者など、急を要する場合もある為、病床数2床、常勤看護師2名を常時確保 ・今後も変動予定なし
12	医療法人竹山産婦人科	堺市南区 晴美台3丁1-4	①	9床	・平成26年4月1日から ・分娩患者数の減少 ・看護師、助産師、応援産科医師が確保できない為 ・設備の老朽化	・看護師、助産師、産科医師を募集する。 ・設備、建物の新設、更新を計画する。 ・継承を含め、診療体制刷新を計画する。 ・上記事項はすべて2025年頃を目処に策定する予定である。

	医療機関名	所在地	非稼働病床 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	病床数 (一般・療養許 可病床数)	非稼働になった時期及び理由	非稼働を改善するための実行可能で具体的な運用計画
13	医療法人好輝会 梶本クリニック分院	堺市北区 中百舌島町4丁615-1	③	1床	時期：病床設置後より 理由：術後経過により入院するかを判断しておりますが対象となる患者がいなかった為。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、月の手術件数は10件前後であり、今後もシャント手術は行っていく予定です。術後経過での不測の事態に備え病床を確保しておきたい。 ・ 手術後の状態で随時判断させて頂くため、稼働時期については未定です。
14	今井医院	堺市北区 百舌島赤畑町4丁343-5	①	5床	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年11月の分娩をもって分娩の取り扱いを終了しています。 ・ 分娩数が少なくても24時間365日、スタッフを常時確保する必要あり、そのめどがつかないため非稼働となっています。 	分娩の取り扱いに必要なスタッフを長期にわたる期間、確保できる状況になるよう努力はしますが、現在の社会的背景では期限を明記する事は困難です。
15	南大阪薫耳鼻咽喉科	堺市美原区 黒山490-1	—	8床		未提出